



# UPDATE! エイズのイメージを変えよう

平成 29 年 11 月 29 日  
富山県感染症情報センター  
(直 0766-56-5431)  
(直 0766-56-8142)

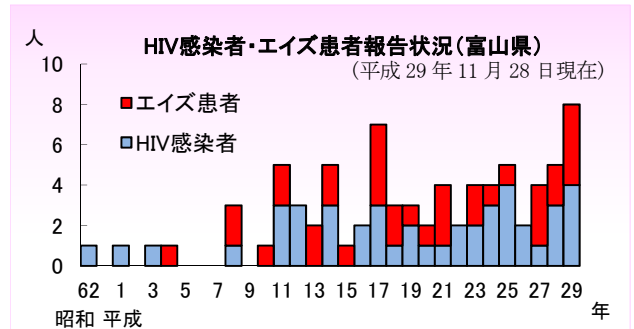
## 感染症発生動向速報

(平成 29 年第 47 週分・11 月 20 日～11 月 26 日)

### 《 インフォメーション 》

#### ●世界エイズデー

県内では、今年に入りこれまでに HIV (ヒト免疫不全ウイルス) 感染症が 8 件(エイズ患者 4 件、HIV 感染者 4 件) 報告されています。県内では、昭和 62 年に初めて感染者が報告され、平成 10 年以降は、毎年数人で推移していますが、今年はこれまでで一番報告数が多くなっています(右図)。



HIV に感染してもすぐにエイズを発症するわけではなく、自覚症状の無い時期が数年間続きます。そのため、この感染症は、HIV 感染者(無症状)と、エイズ患者(有症状)に分かれて報告されます。県内では、約半数がエイズ患者として報告されており、発見の遅れが心配されています。エイズ発症前に検査で HIV 感染を知ることが感染拡大防止と早期治療開始のためにも重要です。

WHO(世界保健機関)は、1988年に世界的レベルでのエイズ蔓延防止と患者・感染者に対する差別・偏見を解消するため、**12月1日を世界エイズデー**と決めました。これに合わせて、県内でも保健所、厚生センターで夜間・休日等の臨時検査の実施や、街頭キャンペーンなどが行われています。平成 29 年度の世界エイズデーのテーマは「**UPDATE! エイズのイメージを変えよう**」です。エイズが発見・報告されてから 30 数年。この間、治療方法は大きく進歩しました。エイズはもはや「死の病」ではありません。にもかかわらず、エイズに対する正しい知識が不足し、そこから生まれる偏見や差別があり、予防行動や HIV 検査受検は不十分です。情報を UPDATE(更新)して、エイズのイメージを現実近づけることは、流行を終わらせるための鍵と言えます。

### 《 全数報告の感染症 》

- 二類感染症 結核 5 件 (①第 46 週診断分: 80 歳代、男性 ②60 歳代、女性 ③70 歳代、男性 ④⑤共に 80 歳代、男性)
- 四類感染症 つつが虫病 1 件 (70 歳代、男性)  
レジオネラ症 1 件 (60 歳代、男性、肺炎型)
- 五類感染症 ジアルジア症 1 件 (40 歳代、男性)  
水痘(入院例) 1 件 (40 歳代、女性)

### 《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患		定点あたりの数		
順位	疾病名	今週	先週	増減
1 位	感染性胃腸炎	8.45	9.17	↓
2 位	咽頭結膜熱	1.97	2.00	↓
3 位	手足口病	1.86	2.17	↓
4 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.55	1.38	↑
5 位	ヘルパンギーナ	0.52	0.34	↑
6 位	水痘	0.38	0.38	→
	突発性発しん	0.38	0.34	↑

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます  
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（平成29年第47週 平成29年11月20日～平成29年11月26日）

分類	疾患	今週報告分（第47週）					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核		1	1	1	1	4	17	6	49	14	82	168
三類感染症	細菌性赤痢									1		2	3
	腸管出血性大腸菌感染症							1	2	14	2	13	32
四類感染症	E型肝炎											1	1
	A型肝炎							2				1	3
	つつが虫病	1					1	3				1	4
	デング熱											3	3
	レジオネラ症	1					1	6		9	2	18	35
五類感染症	アメーバ赤痢							1				4	5
	ウイルス性肝炎							1					1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症							2			4	2	8
	急性脳炎											2	2
	クロイツフェルト・ヤコブ病											2	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症								1	2		5	8
	後天性免疫不全症候群									1		7	8
	ジアルジア症					1	1	2		1		1	4
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									2	1	3	6
	侵襲性肺炎球菌感染症							5		5	3	19	32
	水痘（入院例）			1			1			2		1	3
	梅毒							1		4	1	8	14
	播種性クリプトкокクス症											2	2
	麻しん											1	1
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ		1		2	11	14	1,888	1,370	2,457	1,567	3,453
			0.20		0.29	0.69	0.29						
RSウイルス感染症		1		6		1	8	81	77	295	197	743	1,393
		0.25		0.75		0.10	0.28						
咽頭結膜熱		4	2	14		37	57	114	69	251	68	310	812
		1.00	0.67	1.75		3.70	1.97						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		3	1	17	4	20	45	164	64	799	251	814	2,092
		0.75	0.33	2.13	1.00	2.00	1.55						
感染性胃腸炎		39	18	55	26	107	245	1,583	954	1,517	629	3,518	8,201
		9.75	6.00	6.88	6.50	10.70	8.45						
水痘				5	4	2	11	8	34	106	49	140	337
				0.63	1.00	0.20	0.38						
手足口病		2	10	32	2	8	54	262	228	1,209	298	1,108	3,105
		0.50	3.33	4.00	0.50	0.80	1.86						
伝染性紅斑								1	1	5	1	18	26
突発性発しん				7		4	11	52	33	199	68	134	486
				0.88		0.40	0.38						
百日咳										2			2
ヘルパンギーナ		10	1	3	1		15	60	46	260	120	137	623
		2.50	0.33	0.38	0.25		0.52						
流行性耳下腺炎		1					1	170	72	421	78	365	1,106
		0.25					0.03						
急性出血性結膜炎										3	2	1	6
流行性角結膜炎		1	1			2		5	233	24	8	270	
		1.00	0.50			0.29							
細菌性髄膜炎							1				1	2	
無菌性髄膜炎							1				4	5	
マイコプラズマ肺炎							9	3	18	11	23	64	
クラミジア肺炎							1	1		1	3	6	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）							10		15	21	12	58	
インフルエンザによる入院患者（*）				3	2	5					12	4	16

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

\*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成29年第36週（9月4日）～の集計です。